七ヶ浜小中一貫学校　必要諸室の規模・面積と設備

2011/12/01

		室名		部屋数	規模	面積（㎡）	設備 電話	LAN	TV	インターホン	放送施設 音声	放送施設 来訪スクリーン	空調	給水	給湯	学校開放	設置条件	備考
校舎	普通教室 3,808㎡	教室関係：教室は特に日当たり、通風に考慮して配置し、各学年ごとのまとまりや教科のまとまりを重視する。																
		低学年（小学1～4年生）	普通教室	12	8m×8m程度	768		●	○	○	○	○	○				・各学年ごとにまとまりを持たせ、外部空間との連携に配慮する。 ・管理諸室の近くに配置する。	・学童の私物の収納（ランドセル、楽器、お絵描きセット等）を整備する。 ・学童全員の作品が掲示出来るスペースを整備する。 ・教室内に先生コーナーとして、収納と執務机を用意する。
			オープンスペース		面積はおおよその目安	576		●	○		○	○	○	○				教室×75%
		中学年（小学5～6年生）	教科教室（社会・数学）	6	8m×8m程度	384		●	○	○	○	○	○				・教科ごとにまとまりを持たせた配置に考慮する。 ・広場（オープンスペース）を活用した、多彩な学習展開に対応させる。 ・間仕切りで広場とあわせて、それぞれの教室が1つの教室になるよう考慮する。	・学童全員の作品が掲示出来るスペースを整備する。（各教科ごとの展示スペースとしての利用も念頭に入れる。）
			ホームベース	6	8m×4m程度	192		●			○	○	○				・各教室と隣接させ、学童の私物の収納場所として位置づける。	・学童、生徒の私物の収納（ランドセル、カバン、楽器等）を整備する。
			教科広場（社会・数学）	2	面積はおおよその目安（80㎡程度）	160		●	○	○	○	○	○	○			・教科教室と一体となり、各教科の学習を支援する。 ・教材置き場、交流スペース、先生コーナー、教科関連ミニ図書コーナーといった機能を盛り込んだスペースとする。	・広場内に先生コーナーとして、収納と執務机を用意する。 ・少数学習が可能となるよう、机や椅子を適宜用意する。
		中学年（5～7年生）	教科教室（英語＋共通1）	4	8m×8m程度	256		●	○	○	○	○	○				・教科ごとにまとまりを持たせた配置に考慮する。 ・広場（オープンスペース）を活用した、多彩な学習展開に対応させる。 ・間仕切りで広場とあわせて、それぞれの教室が1つの教室になるよう考慮する。	・学童全員の作品が掲示出来るスペースを整備する。（各教科ごとの展示スペースとしての利用も念頭に入れる。）
			ホームベース	4	8m×4m程度	128		●			○	○	○				・各教室と隣接させ、学童の私物の収納場所として位置づける。	・学童、生徒の私物の収納（ランドセル、カバン、楽器等）を整備する。
			教科広場（社会・数学・英語）	1	面積はおおよその目安	80		●	○	○	○	○	○	○			・教科教室と一体となり、各教科の学習を支援する。 ・教材置き場、交流スペース、先生コーナー、教科関連ミニ図書コーナーといった機能を盛り込んだスペースとする。	・広場内に先生コーナーとして、収納と執務机を用意する。 ・少数学習が可能となるよう、机や椅子を適宜用意する。
		高学年（8～9年生）	普通教室	8	8m×8m程度	512		●	○	○	○	○	○				・各学年ごとにまとまりを持たせ、少数教室との連携に考慮する。 ・間仕切りで1つの教室にもなるよう考慮する。	・学童全員の作品が掲示出来るスペースを整備する。
			ホームベース	8	8m×4m程度	256		●			○	○	○				・各教室と隣接させ、学童の私物の収納場所として位置づける。	・学童、生徒の私物の収納（カバン、楽器等）を整備する。
			少数教室	2	8m×4m程度	64		●	○	○	○	○	○				・数学や英語など少数人数での学習を考慮する。 ・各学年に一室ずつ配置する。	・教室内に先生コーナーとして、収納と執務机を用意する。
		特別支援学級（知的・情緒・言語）		3	8m×8m程度	192	○	○	○	○	○		●	○	○		・できるだけ1Fに配置し、昇降口に近い位置とする。 ・各部屋は防音仕様とする。 ・デンを設ける。（障害を持った児童がパニックを起こした場合、落ち着くための狭い場所として。） ・保護者の待合場所も考慮する。 ・多目的トイレに近接させる。 ・各障害ごとに適した仕様にする。 ・情緒と言語の学級は間仕切りにより一体となり、利用できることを検討する。	・ノーマライゼーションに配慮して孤立しないように注意する。 ・プレイルームを設ける場合は、クッション性のある床材とし、清掃のしやすさに留意する。また室内のボール遊びにも留意する。
		その他	児童会室・生徒会室	2	8m×4m程度	64											・間仕切りで1室にもなるよう考慮する。	・打ち合わせや作業が出来るよう可動家具の設置や収納について配慮する。
	特別教室 2,196㎡	特別教室関係：基本的な日射・通風条件等を考慮する（必ずしも南面にする必要はない）。特別教室は全学年で共有や中庭を介した特別教室つのながりなどを考慮する。																
			ランチルーム（兼集会室）	1		350		●	○	○	○	○	●	○	○	○	・調理室と隣接させ、一体とした使用を想定する。（施設の独立性は確保する。） ・施設のシンボルとして、環境の良い場所に設置する。 ・地域の利用や災害時の利用を考慮した配置計画とする。	・豊かに食が楽しめるように意匠に特に配慮すること。 ・一度に200人程度（2学年）が一緒に食事が取れるよう椅子と机を用意する。
			総合家庭科室	1		150		○	○	○	○	○	●	○	○	○	・調理室と被服室、生活科室の3つを合わせた授業が行えるよう工夫する。 ・ランチルームと近接させ、一体で食育教育が実施できるものとする。 ・地域の利用や災害時の利用を考慮した配置計画とする。	・床は危険防止のため滑りにくい素材とする。 ・包丁等が収納できる豊富な収納を有すること。 ・指導する側の実習台が周辺から視認しやすい教室の形状、レイアウトの工夫が必要。 ・災害時の利用を考慮し、都市ガス・プロパンガスの切り替えが行える仕組みとする。
			家庭科準備室	1	6m×6m程度	36		○		○	○		○	○			・総合家庭科室に隣接し、直接出入りできること。	・施錠できる豊富な保管庫を有すること。 ・ミシン等が保管できる保管場所とする。
			理科講義室	1	8m×8m程度	64		○	○	○	○	○	○	○			・主に低学年の利用を考慮した計画とする。 ・理科の広場と近接させ、一体とした利用を考慮する。	・軽実験にも対応させるため、理科準備室は理科室と兼用とする。 ・床は危険防止のため滑りにくく、薬品に強い材質とする。 ・流し台を設けること。
			準備室（講義室兼用）	1	8m×4m程度	32		○		○	○		○	○			・理科室、理科講義室に隣接し、直接出入りできること。	・理科講義室と理科室を横断できるよう出入り口を設ける。
			理科室	2	8m×12m程度	192		○	○	○	○	○	○	○			・主に中学年以上の実験等の利用を考慮した計画とする。 ・理科の広場と近接させ、一体とした利用を考慮する。 ・屋外の庭とのアクセスしやすい位置とする。	・流し台を設けること。 ・床は危険防止のため滑りにくく、薬品に強い材質とする。 ・換気に配慮する。
			準備室（2室兼用）	1	8m×4m程度	36		○		○	○		○	○			・理科室、理科講義室に隣接し、直接出入りできること。	・理科講義室と理科室を横断できるよう出入り口を設ける。
			理科の広場	1	面積はおおよその目安	80	○	●	○	○	○	○	○	○			・理科室、理科講義室と一体となり、理科の学習を支援する。 ・教材置き場、交流スペース、先生コーナー、教科関連ミニ図書コーナーといった機能を盛り込んだスペースとする。	・広場内に先生コーナーとして、収納と執務机を用意する。 ・少数学習が可能となるよう、机や椅子を適宜用意する。
			音楽室	2	10m×10m程度	200		○	○	○	○	○	●				・低学年対応の音楽室、中～高学年対応の音楽室を各1室設ける。	・基本的な音響性能ならびに防音性能を備える。
			準備室（二室兼用）	1		50		○		○	○		○				・両方の音楽室に隣接する配置とする。	・両方の音楽室を行き来出来るように計画する。 ・楽器等を収納する。 ・小中で使用する楽器を一括して保管しておく。
			パート練習室	2	面積はおおよその目安	80					○						・木琴、金管楽器等のパート練習に活用する。 ・部活動での少数パート練習としての活用も考慮する。	・基本的な音響性能ならびに防音性能を備える。
			音楽の広場	1	面積はおおよその目安	80	○	●	○	○	○	○	○	○			・部活動での使用や先生コーナー、教科関連ミニ図書コーナーといった機能を盛り込んだスペースとする。	・広場内に先生コーナーとして、収納と執務机を用意する。
			アトリエ	1		300		○	○	○	○	○	○	○		○	・ギャラリーと隣接させ、創造と展示を一体的に行うことができるように考慮する。 ・図工、美術、技術が行える設備等を整えること。 ・災害時の救援物資倉庫としての利用を考慮した配置計画とする。	・流し台を設けること。 ・屋外ワークスペースの併設も考慮する。 ・北側採光に考慮する。 ・作業の音に配慮した防音仕上げまたは配置計画を行う。 ・汚れにくく、掃除しやすい床仕上げとする。 ・生徒の作業用電源は天井からの吊り下げとする。 ・災害時の救援物資倉庫としての利用を考慮し、固定机等は極力少なくする。

			アトリエ準備室	1		72		○		○	○		○	○			・アトリエに隣接し、直接出入りができること。	・汚れにくく、掃除しやすい床仕上げとする。
			ギャラリー	1	面積はおおよその目安	80	○	●	○	○	○	○	○	○		○	・アトリエと一体的に利用し、図工、美術、技術の学習を支援する。 ・間仕切りにより、アトリエと一体的に利用できるように整備すること。	・授業が重なったときに、サブ教室として使用できるように整備すること。 ・汚れにくく、掃除しやすい床仕上げとする。
			図書室（学習スペース、PC室含む）	1		480		●	○	○	○	○	●			○	・読書や調べ学習など、児童と生徒がいつでも利用可な配置にする。 ・閲覧コーナーにを設ける。 ・地域住民も利用可能とし、メディアセンターとして配置に考慮する。 ・PC室を併設することで、情報に関する教育等の支援を円滑に行えるようにする。 ・学童クラブとの連携利用を考慮する。	・PC室は部屋としての独立性も考慮する。 ・多彩な年齢層が利用する知的ソースセンターとしての意匠性を表現した空間とする。 ・交流スペースを配慮した計画とする。 ・貸出しカウンターは、児童や生徒による運営時、開放時の運営でも使いやすい形態とする。 ・床暖房設備の整備を検討する。
	管理諸室 670.5㎡		保健室	1		81	○	○	○	○	○		●	○	○		・1Fに配置する。また低学年エリア、特別支援学級に近接した配置とする。 ・グラウンドから直接アクセス出来るようにする。 ・災害時の利用も考慮し、体育館とも近接した配置とする。	・屋外に足洗い場を設ける。 ・傷病者搬出のため、出入り口や救急車の車寄せに配慮する。 ・健康情報を掲示出来るスペースを設ける。 ・専用のシャワー室、トイレ、更衣室の整備を検討する。
			職員室	1	教職員（30人）×3㎡程度 ＋ 給湯室、更衣室等	150	○	○	○	○	○		●	○			・セキュリティに配慮し、校門の雰囲気が掌握できる位置に配置する。 ・1Fに配置する。 ・昇降口の視える位置、または近接した位置が望ましい。 ・給湯室、教職員更衣室を併設させる。 ・印刷室、資料室と隣接して配置する。	・電源、LANケーブル等はすべて廊下に収納できるようにOA化する。 ・防災および設備総合盤を設置する。 ・対話コーナーや休憩コーナー設置を検討する。 ・小学校の職員室との隣接や一体化を検討する。
			職員室	1	教職員数×3㎡程度	100	○	○	○	○	○		●	○			・セキュリティに配慮し、校門の雰囲気が掌握できる位置に配置する。 ・1Fに配置する。 ・昇降口の視える位置、または近接した位置が望ましい。 ・給湯室、教職員更衣室を併設させる。 ・印刷室、資料室と隣接して配置する。	・電源、LANケーブル等はすべて廊下に収納できるようにOA化する。 ・防災および設備総合盤を設置する。 ・対話コーナーや休憩コーナー設置を検討する。 ・中学校の職員室との隣接や一体化を検討する。
			会議室	1	9m×8m程度	72		●	○	○	○		●				・職員室、校長室に隣接し配置する。 ・1室を2室に出来るような間仕切りを設置する。 ・災害時に避難所運営やボランティア受け入れ場所としての利用を念頭に入れ、考慮する。	
			教育相談室	2	4m×4m程度	32	○	○	○	○	○		●				・利用者の動線や普通教室との距離などプライバシーに配慮した位置とする。 ・保健室や職員室から出入りできる計画を検討する。	・防音仕様とする。 ・災害時に傷病者の就寝場とするため、畳敷きを検討する。
			放送室	1	5m×4m程度	20		○	○	○	○		●				・職員室に近接した配置とする。	・防音、、遮音性能を十分に満足する計画とする。 ・前室と収録室に区分する。
			校長室	1	6m×4m程度	25	○	○	○	○	○		●	○			・職員室、会議室に隣接して配置する。 ・来客のアプローチを配慮した計画とする。	・応接スペースを設ける。 ・洗面台、ロッカーを設ける。
			事務室	1	8m×4m程度	32	○	○	○	○	○		●				・校長室や職員室と連携できる配置とし、来客者を一元的に管理できるように工夫する。	・事務員数の執務空間を確保する。
			用務室	1	8m×4m程度	32	○	○	○	○	○		●					・収納スペース、作業スペース、収納棚を適正に計画する。 ・換気が十分に行えるように計画する。
			資料室	1	8m×4m程度	32					○						・職員室に隣接して配置する。	・棚を設置する。
			印刷室	1	8m×4m程度	32					○						・職員室に隣接して配置する。	・限られた空間の中で、作業時に使用勝手の良いレイアウトとすること。 ・棚を設置する。
			給食配膳室	2	6m×6m程度	72											・各階に給食を配膳するために、各階に設ける。（2階建てを想定）	・エレベーターを取り付ける。 ・階数により、部屋数が変化する。
			給食配膳室	2	6m×6m程度	72											・各階に給食を配膳するために、各階に設ける。（2階建てを想定）	・エレベーターを取り付ける。 ・階数により、部屋数が変化する。
	中学校（第一期） 校舎小計					4094												
	小学校（第二期） 校舎小計					2572												
	校舎小計					6666												
	中学校共用部 （第一期）		昇降口、便所、廊下、階段等		校舎小計×0.3	1228.2											・昇降口の位置は、アプローチ、グラウンド、クラスルーム、との位置関係に配慮し、児童、生徒の移動がスムーズにできるよう計画する。	・昇降口には児童、生徒の寸法に合わせた下駄箱や傘立てを整備する。 ・廊下には適宜、掲示することができるスペースを設ける。 ・壁、扉は耐衝撃性の高い強度を確保し、カートやワゴンの衝突保護に配慮すること。 ・トイレは児童、生徒の居住スペースの一部として、明るく清潔に使用できるよう考慮する。 ・最低一箇所は多目的トイレとし、車椅子やオストメイト等へ対応する。また温水供給も検討する。
	中学校合計（第一期）					**5322.2**												
	小学校共用部 （第二期）		昇降口、便所、廊下、階段等		校舎小計×0.3	771.6											・昇降口の位置は、アプローチ、グラウンド、クラスルーム、との位置関係に配慮し、児童、生徒の移動がスムーズにできるよう計画する。	・昇降口には児童、生徒の寸法に合わせた下駄箱や傘立てを整備する。 ・廊下には適宜、掲示することができるスペースを設ける。 ・壁、扉は耐衝撃性の高い強度を確保し、カートやワゴンの衝突保護に配慮すること。 ・トイレは児童、生徒の居住スペースの一部として、明るく清潔に使用できるよう考慮する。 ・最低一箇所は多目的トイレとし、車椅子やオストメイト等へ対応する。また温水供給も検討する。
	小学校合計（第二期）					**3343.6**												
	校舎合計					**8665.8**												
		体育館	体育館			972										○		
			ステージ			85										○		
			倉庫			88										○		
			ミーティングルーム			40										○		

体育館			武道場			432										○		
			防災倉庫	1		120					○						・1Fに配置し、外部からも使用できるように配慮すること。 ・物品の搬出入に車両を利用しやすい位置とすること。	・倉庫は耐火、耐震構造とすること。 ・体育館内外から出入可能とし、施錠も可能とすること。 ・体育館の隣接する場所に災害用井戸の設置を検討する。 ・隣接する場所に災害用仮設マンホールトイレの設置を検討する。
			部室			120												
		プール	プール	1		1000					○			○			・原則25m×8コースとする。 ・プールサイドの床は滑りにくいものとし、日射を遮る見学スペース、ビート板などをしまう収納スペースを設けること。	
			更衣室	1							○			○			・男女別に配置すること。	・男女それぞれ40人程度のロッカーを設置できるものとする。 ・洗面設備、水飲み場を整備する。
			シャワー室	1							○			○			・男女別に設置する。 ・更衣室と一体化した計画とする。	・男女各3ブース程度用意する。 ・災害時の利用を考え、プロパンガスを接続すると温水が出るような仕組みを検討する。
			トイレ・機械室等	1							○			○				
	体育館共用部		入口、便所、給湯、廊下、階段等			543												
	体育施設合計					2400												
	学校合計					11065.8												
地域開放施設		地域ふれあいセンター	集会室	1		120	○	○	○	○	○	○	●	○	○		・1Fに配置する。	・舞台を設ける。 ・フローリング床とする。 ・プレイルームと隣接し、一体としての活用も配慮した計画とする。
			和室	1		50	○	○	○	○	○	○	●	○	○		・1Fに配置する。 ・学校図書室を利用しやすいように計画する。	・12畳、8畳各1室、一室として利用できるように配慮する。 ・学校図書館との連携利用を工夫した計画とする。
			会議室	1		50	○	○	○	○	○	○	●	○	○		・1Fに配置する。 ・学校図書室を利用しやすいように計画する。	・隣室に給湯室等を整備する。 ・20人程度の利用を想定した広さ、家具とする。 ・学校図書室との連携利用を工夫した計画とする。
		児童センター	プレイルーム	1		150	○	○	○	○	○	○	●	○	○		・学童クラブのプレイルームと連携可能な位置とする。 ・1Fに配置することが望ましい。	・集会、遊戯、体育等に利用する。 ・乳幼児を伴った父兄の利用にも配慮する。（子育て支援機能） ・フローリング床とする。 ・遊具保管庫が必要。
			図書室	1		50	○	○	○	○	○	○	●	○	○		・プレイルームに近接（静粛性に配慮）する。 ・児童センターの利用者が、学校図書室を利用しやすい計画とする。	・学校図書館との連携と工夫した計画とする。 ・書棚と読書コーナーの配置に配慮する。
			工作室	1		50	○	○	○	○	○	○	●	○	○		・プレイルームに近接する。	・防音に配慮する。
		管理センター	事務室・トイレ等			150	○	○	○	○	○	○	● 倉庫・トイレは除く	○	○ 給湯室のみ		・ふれあいセンター、児童センターで共用できるように計画する。 ・会議室と隣接させ、給湯室等を設ける。 ・玄関付近には、展示空間の整備を考慮する。 ・1Fに配置する。	・多目的トイレ（男女別）を設置する。 ・給湯室等からは集会室へも食事を提供できるように考慮する。 ・トイレは各階に設置する。 ・授乳室を設置する。
		学童クラブ	プレイルーム	1		200		○	○	○	○	○	●	○	○		・児童センターのプレイルームと連携可能な位置とする。 ・外部からの直接出入り可能とすること。 ・学童クラブの児童が学校図書室を利用しやすい計画とする。	・畳コーナー、リビングコーナー、フローリングコーナーを設置し、児童スケールに合わせた空間とする。 ・カウンターを設け、給湯を設置する。またIHクッキングヒーター（2口）を設置する。 ・遊具保管庫が必要。
			事務室・トイレ等			40	○	○	○	○	○	○	● 倉庫・トイレは除く	○	○ 給湯室のみ		・ふれあいセンター、児童センターとの共用できる位置とする。	・多目的トイレを設置する。 ・学童クラブ専用の事務室を設置する
		町民体育館	今後必要に応じた規模を決定していく（現在想定面積：1,600㎡）															
総合計						13585.8												

※赤文字となっている部分は、防災対策としての留意点である。
※赤色で塗られている部分は、二期工事の小学校の必要諸室と面積である。
※灰色で塗られている部分は体育館、武道場の建て替えを想定した面積である。（現状では既存建物を利用する。）
※紫色で塗られている部分は地域開放施設として、今後設置の検討を行なっていく。

【屋外施設】
設置基準：小学校用と中学校用の2つにわけて設ける。また低学年側には専用の庭（菜園）を配置する。

（1） 屋外運動場：学校開放、災害時の利用も考慮した設備等を計画する。小学校に150m、中学校に200mのトラックを配置し、直線で100mコースが確保できる広さとする。また、防球ネット、運動用具、屋外倉庫等の要求。少年野球、少年サッカー、地域開放の要求。
また、授業参観時や災害時自衛隊出入りといった車の出入りついても考慮すること。
（2）低学年用中庭（菜園）：低学年教室に近接して配置。また日照に配慮する。
（3）駐車場：先生方の利用を中心とし、30台程度
（4）駐輪場：基本的には既存のものを利用する。基本構想の場合、移築等行う場合は生徒数の300台～400台の駐輪スペースを確保する。（中学校のみ）
（5）体育館付近に防災用井戸の設置
（6）中庭：特別教室周辺に設け、授業の展開や災害時の利用を考慮した計画とする。
（7）遊具に関しては、安全性に配慮した配置とすること。遊具と通路部分を明確にした整備を行うこと。
（8）中学校のプール：このプールは二期工事の段階で設置する。小・中学生の共同利用も念頭に入れておく。

凡例
○・・・設備設置の有無
〈LAN〉　○・・・有線LAN　●・・・無線LAN
〈空調〉　○・・・暖房のみ　●・・・冷房、暖房